

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年8月1日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年8月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【第3セシウム吸着塔一時保管施設西側トレーラからの油の漏えいについて】 当社社員が、第3セシウム吸着塔一時保管施設西側に駐車しているトレーラから油が漏えいしていることを発見。 現場確認の結果、近傍の道路側溝へ油の流入が確認されているが、下流の目視可能場所である35m先では油は確認されておらずBC排水路に流れ込んでいないこと、現在、トレーラからの漏えいは停止していることを確認。 油の拡大防止処置として、吸着マットにより路面上の油の拭き取りを実施。 側溝内は、土嚢と吸着マットを設置し、油の回収作業を実施。 本件は、消防署より「車両からの油漏えい事象」と判断された。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	G II	7月26日
2	<p>【アスファルト舗装作業における協力企業作業員の体調不良者の発生について】 協力会社作業員が、アスファルト舗装作業終了後、退構のためにバスにて移動中(免震重要棟→入退域管理棟)にめまいを感じたことから救急医療室を受診。 救急医療室において、脱水症および末梢性めまいと診断され、処置を受けた。 今後、熱中症予防対策について、再周知および再教育を実施。</p>	G III	7月27日